

sangetsu



ロールスクリーン

TR型メカ チェーン式

取扱説明書 No. R-190017

初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくためによくお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目次

| | |
|--------------------|----|
| ■ 安全上のご注意 | 2 |
| ■ 製品全体図及び部品名称 | 4 |
| ■ 製品の取付け/取外し方法 | 5 |
| ■ コードクリップの取付け/使用方法 | 8 |
| ■ 操作方法 | 10 |
| ■ 調光方法 | 10 |
| ■ スプリングの調整方法 | 11 |
| ■ スクリーン巻きずれ対処方法 | 12 |
| ■ メンテナンスシール | 13 |
| ■ “故障かな”と思ったら | 14 |
| ■ お手入れ方法 | 14 |
| ■ 梱包材の処理方法 | 14 |

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

●本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

●本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。

⊘ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。

❗ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)



警告

- ⊘ 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外へは取付けないでください。
- ⊘ 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。
- ⊘ セットバーをつかんで製品を持つのはおやめください。故障の原因となります。



使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)

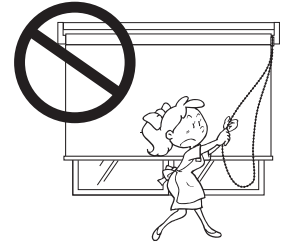
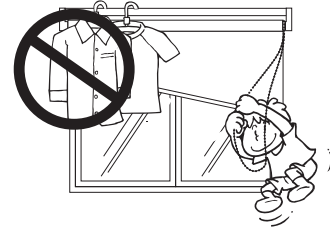


警告

- ⊘ お子様をコードやチェーンで遊ばせないでください。
- ⊘ コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- ❗ 操作しない時は、お子様の手が届かない位置でコードやチェーンを束ねて、コードクリップで留めてください。

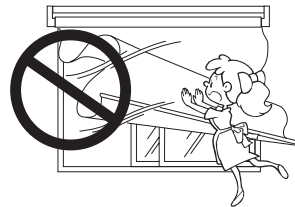


- ⊘ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- ⊘ 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

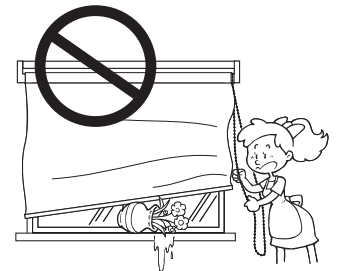


注意

- ⊘ 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを巻き上げた状態にしてください。
- ⊘ メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。



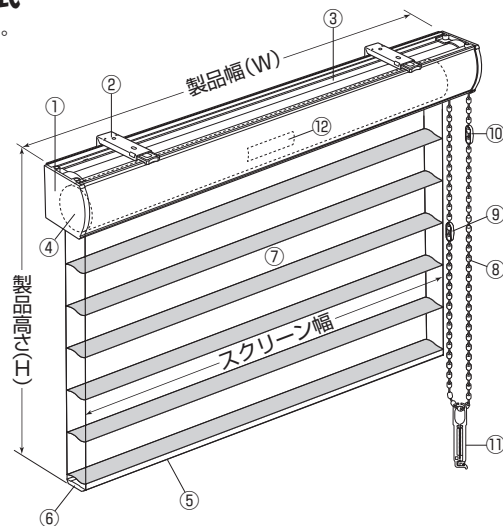
- ⊘ 必ずボールチェーンを持って操作を行ってください。スクリーンやローラーパイプ、ウエイトバーを持って操作を行わないでください。
- ⊘ 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。
- ❗ 製品は決められた製品高さの範囲でご使用ください。範囲以上でご使用になると、スクリーン及びその他部品の落下、破損の原因になります。



製品全体図及び部品名称

TR型メカ チェーン式

※イラストは右操作仕様です。



部品名

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ① サイドホルダーセット | ⑤ ボトムレール | ⑨ チェーンジョイント |
| ② ブラケット | ⑥ ボトムレールキャップ | ⑩ 下限コネクター(※) |
| ③ ヘッドボックス | ⑦ スクリーン | ⑪ コードクリップ |
| ④ ローラーパイプ | ⑧ ボールチェーン | ⑫ メンテナンスシール |

※ 下限コネクターは逆巻きを防止するための部品です。

■ 付属部品

| 部品名 | ブラケット | 正面付L字金具 [※] | L字金具 [※] 取付け小ネジ | ブラケット取付けネジ | | 巻きすれ 調整シール | コードクリップ |
|-------------|-------|----------------------|-----------------------------|------------|------|---------------|---------|
| | | 正面付けの場合のみ | 正面付けの場合のみ | 天井付け | 正面付け | | |
| 製品幅 [mm] | | | | | | | |
| ~1200 | 2 個 | 2 個 | 4 本 | 2 本 | 6 本 | 1 枚 | 1 個 |
| 1205~2000 | 3 個 | 3 個 | 6 本 | 3 本 | 9 本 | | |

※ 正面付L字金具とL字金具取付け小ネジは、正面付けの場合のみブラケットに取付けられています。

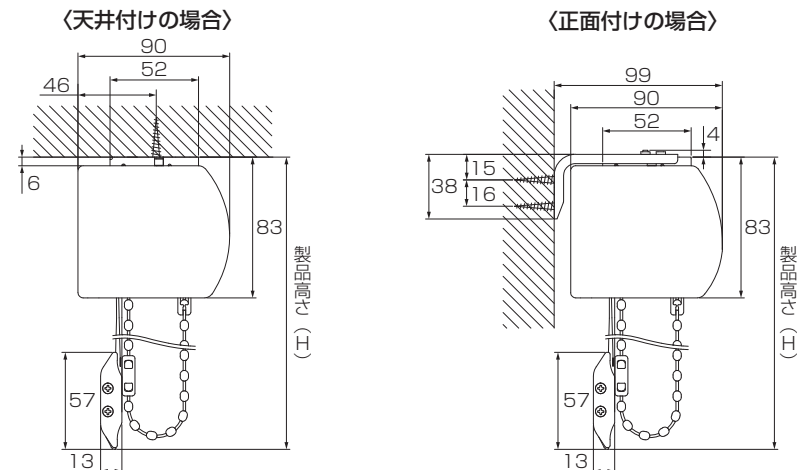
※ ネジ類の取付けは、プラスドライバー(No.2)をご使用ください。

■ 製品重量

約6.6kg (幅2000mm×高さ2000mmの場合)

製品の取付け/取外し方法

■ 取付けの種類



※ ブラケット1個につき、取付けネジを、天井付けの場合：ネジ1本、正面付けの場合：ネジ3本使用してください。

※ 製品高さ(H)はブラケット上端からボトムレール下端までの寸法です。

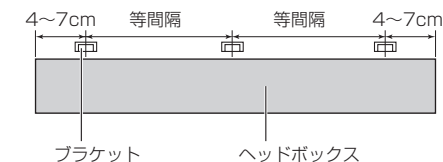
※ 製品高さ(H)はスクリーンが全閉状態で設定しています。

■ ブラケットの取付け位置

※ スクリーンを巻き上げた際、ボトムレールが製品後方に納まります。ラクーシュライトを天井付けする際、後方に壁などがある場合には48mm以上あけてください。

① ブラケットはヘッドボックスの両端から各4~7cmの位置に取付けてください。

② ブラケットが3個の場合はその間が等間隔になるよう取付けてください。

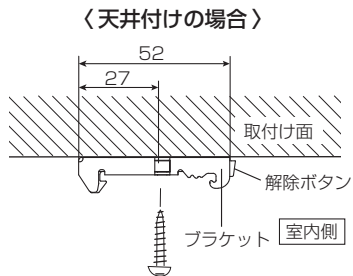


⚠ 注意

① ブラケットの取付け位置は必ず守ってください。ブラケット取付け位置が正しくないとスクリーンが巻き上がらない、ボールチェーンが外れるなど故障の原因となります。

〈天井付けの場合〉

- 解除ボタンが室内側(手前)になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。
- ※ ブラケット1個に対し、取付けネジは1本です。右図はブラケットの長穴の中心までの寸法図です。ブラケットには丸穴もありますが取付け状況に応じてご使用ください。

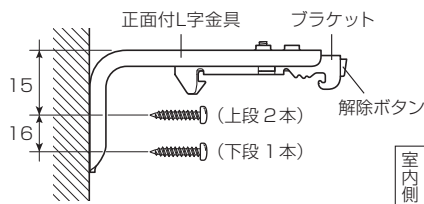


〈正面付けの場合〉

- 解除ボタンが室内側(手前)になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

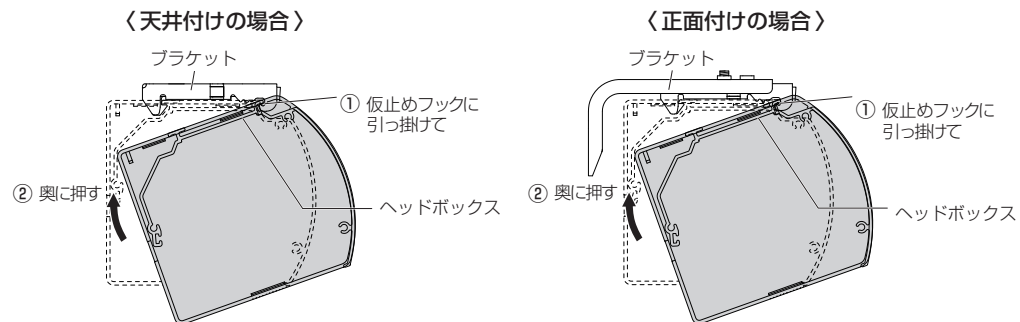
⚠ 注意

- ❗ 正面付L字金具1個に対し、必ず付属の取付けネジ3本で取付けてください。2本以下で取付けた場合、製品が落下する恐れがあります。



■ 製品本体の取付け方法

- ヘッドボックスの溝をブラケットの仮止めフック(解除ボタンのある側)に引っ掛けてください(①)。本体を奥に『カチッ』と音がするまで押し上げてください(②)。

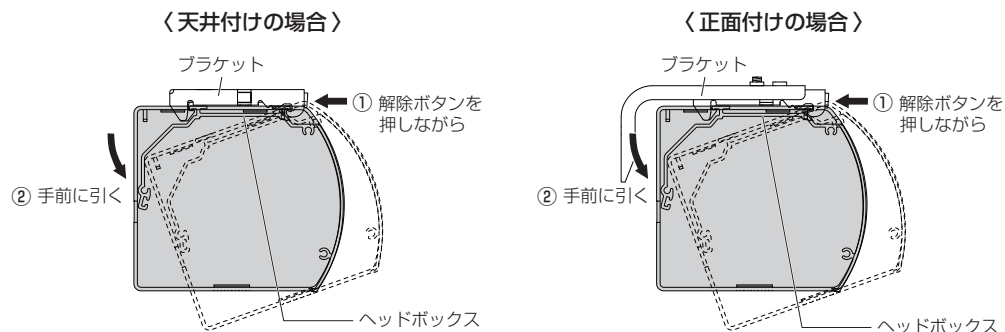


⚠ 注意

- ❗ 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されていることをご確認ください。
- ❗ ボトムレールはスクリーンに対して垂直に扱ってください。ウエイトバーを傾けて扱いますとスクリーンに接触し、スクリーンを傷める恐れがあります。

■ 製品本体の取外し方法

- ① スクリーンを巻き上げた状態で本体を持ち、ブラケットの解除ボタンを押しながら(①)ヘッドボックスを手前に引いてください(②)。
- ② 本体を仮止めフックから外してください。



⚠ 注意

- ❗ ブラケットから製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。
- ❗ ボトムレールはスクリーンに対して垂直に扱ってください。ウエイトバーを傾けて扱いますとスクリーンに接触し、スクリーンを傷める恐れがあります。

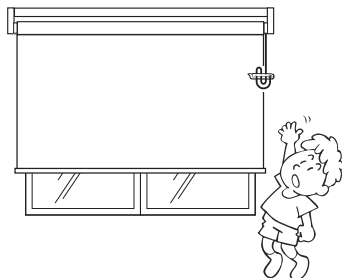
コードクリップの取付け/使用方法



注意

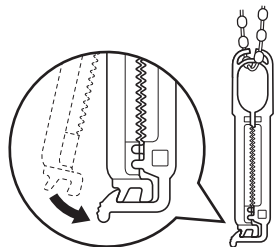
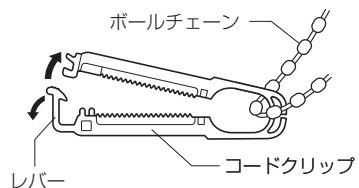
- ⊘ 弊社のボールチェーン以外のものを掛けないでください。
- ⊘ お子様をボールチェーンで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

- このコードクリップは、ボールチェーンがお子様の首や体に巻きつかないように、危険を回避する為の補助部品です。すべての使用下において安全を保障するものではありません。
- お子様の手が届かない位置でボールチェーンを束ねて、コードクリップで留めてください。



取付け方法

- ① コードクリップ先端のレバーを広げ、ロックを解除し、コードクリップ本体を開いて、製品のボールチェーンをコードクリップに通してください。
- ② コードクリップへボールチェーンを通したら、コードクリップ先端を閉じ、ロックをかけてください。



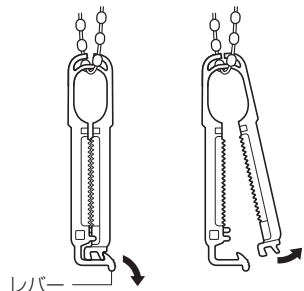
使用方法

- ① コードクリップ先端のレバーを広げ、ロックを解除し、コードクリップ本体を開いてください。

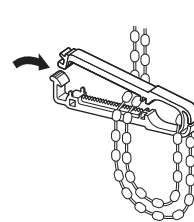


注意

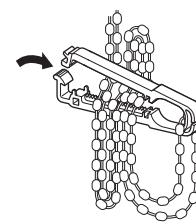
- ⊘ コードクリップを無理に広げないでください。破損の原因になります。
- ⓪ コードクリップの間に指やスクリーンなどを挟まないように、ご注意ください。



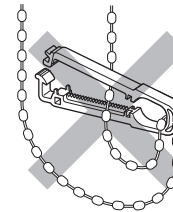
- ② コードクリップを持ち上げ、開いた中にボールチェーンを通してください。



※ 通常使用

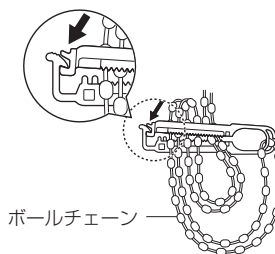


※ 長い場合は折り返して長さを調節してください。



※ 必ず2本以上で留めてください。1本の場合ズレ落ちることがあります。

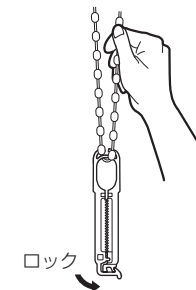
- ③ 開いているコードクリップを閉じて、ロックをかけてください。



注意

- ⓪ ボールチェーンは一列になるように挟んでください。重なった状態で挟むとズレ落ちる場合があります。

- ④ 製品を操作する際は、コードクリップ先端のレバーを広げ、ロックを解除し、ボールチェーンを降ろし、コードクリップのロックをかけてから製品を操作してください。



注意

- ⓪ コードクリップのロックを外したまま製品を操作すると、ボールチェーンからコードクリップが外れ、落下する場合がありますので必ずロックしてから操作してください。

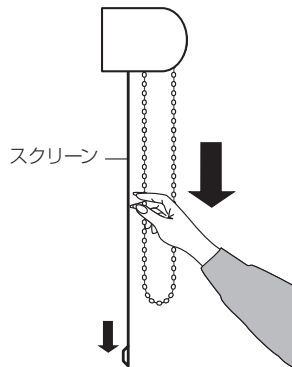
操作方法

⚠ 注意

- ❗ 昇降するときは操作チェーンを真下にゆっくり引いて操作してください。急激な操作をしたり操作チェーンを斜めに引くと、巻きずれや故障・製品破損の原因となります。

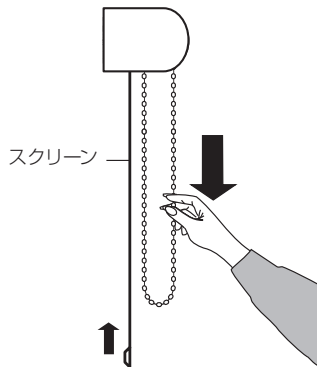
■スクリーンの降ろし方

- 奥のボールチェーンを引いてください。



■スクリーンの上げ方

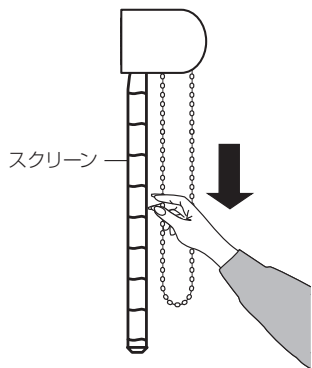
- 手前のボールチェーンを引いてください。



調光方法

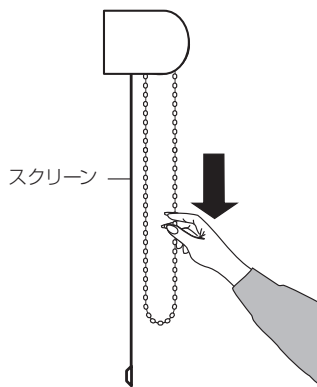
■スクリーンの開け方（調光の方法）

- ボトムレールが製品高さの位置にくるまでスクリーンを下ろした状態で更に奥のボールチェーンを引くと、スクリーンが開き調光状態になります。



■スクリーンの閉じ方

- 調光状態のスクリーンを閉じるには、手前のボールチェーンを引いてください。スクリーンが閉じます。更に引き続けるとスクリーンが上がります。



スプリングの調整方法

⚠ 注意

- ⊘ スプリングの調整を行う場合は、操作の軽さを確認しながら調整を行ってください。過度にスプリングを強くしますと破損の原因となり、昇降不良につながります。

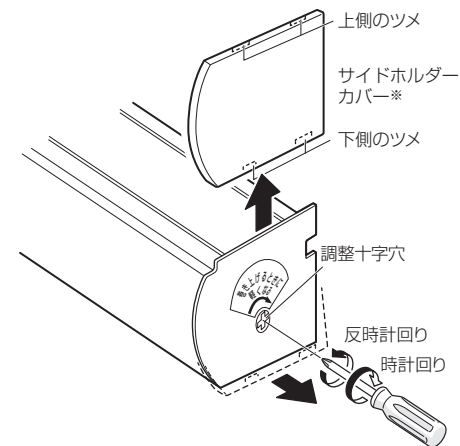
※調整十字穴がない製品はスプリングセットを内蔵しておりませんので、調整はできません。

※右操作と左操作では、回す方向が逆になりますのでご注意ください。

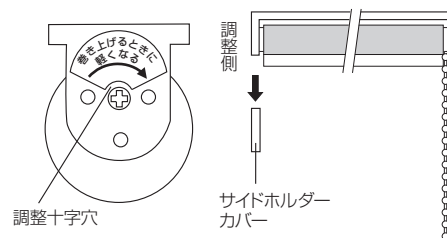
- 操作側(チェーン側)と反対のサイドホルダーセットのカバーを上方向にスライドさせて外し、プラスドライバー (No.2) (製品に付属されておりません) で調整十字穴を回し調整を行ってください。

※取外しの際は、カバー下側にあるツメをサイドホルダー本体から外し持ち上げるようにしてください。

※取付けの際は、カバー上側にあるツメをサイドホルダー本体上側に引っ掛けて、カバー全体を押し込んでください。



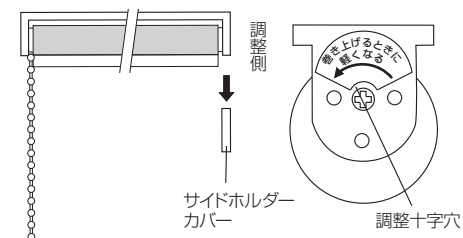
〈右操作の場合〉



- 矢印の方向に回すと巻き上げ操作力が軽くなります。

※引き下げ時の操作力は重くなります。

〈左操作の場合〉



- 矢印の方向に回すと巻き上げ操作力が軽くなります。

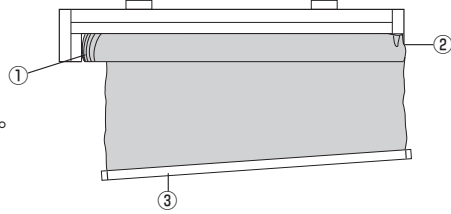
※引き下げ時の操作力は重くなります。

スクリーン巻きずれ対処方法

- スクリーンが巻きずれていると、スクリーンを昇降できなくなったり、スクリーンが破損（しわ、やぶれ等）する恐れがあります。出荷時に、調整をしてありますが、取付け場所の関係等により、巻きずれが発生した場合は、以下の手順で巻きずれを補正してください。

〈スクリーンが巻きずれた状態とは？〉

- ①スクリーンが「竹の子」状になる。
- ②スクリーンがサイドホルダーセットに当たる。
- ③ボトムレールが左右均等（水平）にならない。

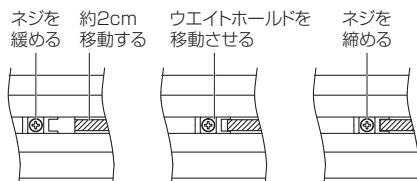
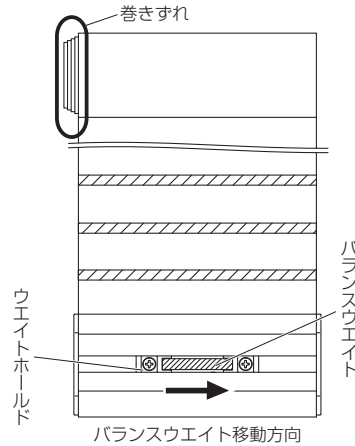


■巻きずれの調整方法

- ※スクリーンは工場出荷時に調整してありますが、取付け場所の関係などにより万一巻きずれが発生した場合は、ボトムレールのバランスウエイトにて対応してください。
- ※巻きずれの調整は工場出荷時に行っています。その為、バランスウエイトの位置はボトムレールの中央になっていない場合もあります。取付け時に巻きずれが発生しない場合、バランスウエイトの位置は移動させないでください。

〈巻きずれが発生した場合〉

- ①スクリーン（ボトムレール）を製品高さの位置まで下ろしてください。
- ②ボトムレール後ろ側にあるバランスウエイト位置を〈バランスウエイトの位置調整方法〉の手順にそって調整してください。
- ③巻きずれ調整ウエイト位置を調整した後、スクリーンを巻き上げて、巻きずれが直っているか確認してください。
- ④巻きずれが直っていない場合、「①～③」の手順を繰り返して巻きずれバランスウエイトの位置調整を行ってください。

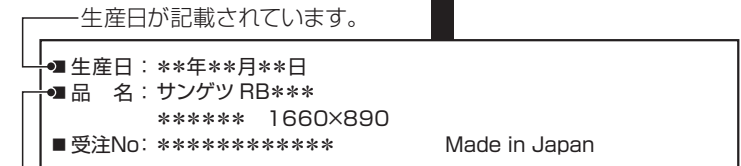
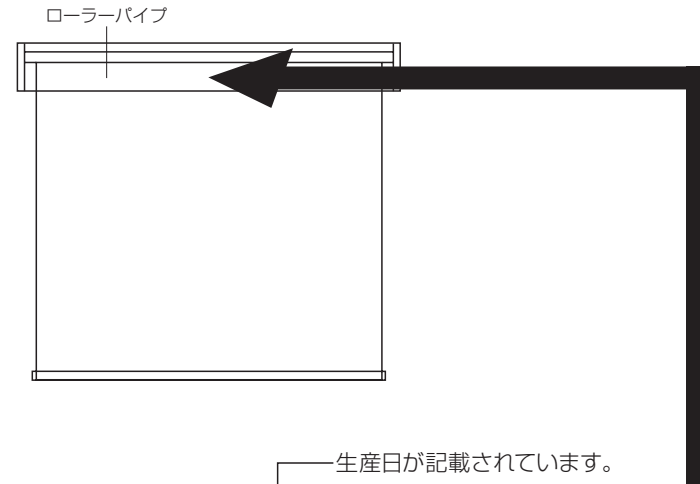


※調整後ウエイトホルダーは両側をしっかりとネジで固定してください。

※樹脂ネジを使用しています。ネジを緩める際は、手回しのプラスドライバー（No.2）（製品には付属されておられません）をご使用ください。

メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



製品仕様が記載されています。

| | | | |
|-----------|-------|------------|------|
| サンゲツRB*** | ***** | 1660 × 890 | |
| 機種名 | 色柄品番 | 製品幅 | 製品高さ |

“故障かな”と思ったら

■ こんなとき

| 現象 | 原因 | 処置 |
|--|--|---|
| ●昇降の操作が重い | → スプリングの設定(初巻き)が解除されているか、極端に弱くなっていると思われます。 | ●P.11『スプリングの調整方法』をご覧ください。 |
| ●スクリーンが巻き上がる際にサイドホルダーセットにあたってしまう。(巻きずれてしまう。) | → 製品が水平に取付いていない。ブラケットが正しい位置に付いていない。 | ●正しくない場合は正しい状態に直してください。 ●P.12『スクリーン巻きずれ対処方法』をご覧ください。 |

お手入れ方法

- 日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
 - 水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。
 - スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残りもとに戻らない場合がありますので十分注意してください。
 - 生地がほつれた場合は、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。
 - 生地の中に虫が入った場合は、そのまま巻き上げると生地の汚れやシミの原因となる場合があります。虫が入ってしまったときは、生地を降ろした状態のままウェイトバーを押さえ、生地の側面から掃除機のノズルをあてがい吸い込む等、虫を取り除いてください。
- ※その際は、生地を傷めないようにご注意ください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。